

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33
(Fax) 0277-43-8225 (振替) 00130-2-114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) http://japankatarinet.jp/

2018. 1. 27 発行

ニュース

新しい 1 年が始まりました

植田たい子 (NPO 法人全日本語りネットワーク 副理事長)

今年が戌年、十二支の 11 番目。語り初めに犬のお話があちこちで語られていることでしょう。我が家に犬がいた頃、語りの聴き手になって、目や耳を時には尾をパタパタ振って聴いて(?) くれました。『全国の犬像をめぐる 忠犬物語 45 話』(青柳健二著 青弓社 2017) は著者夫妻が愛犬を伴って日本一周し、江戸時代から 2015 年までの忠犬・愛犬像を写真と文で紹介した本です。犬の像・塚・墓・碑には、それぞれに伝説、物語が伝えられ人間との親密さが伝わってきます。桃太郎、しっぺい太郎、忠犬ハチ公などの有名犬だけでなくその地域に深く愛されている犬たちの話も興味深く、もしかしたら新しい語りが生まれるかもしれません。

昨年、心に残った語り(場)は 11 月 25~26 日の「テラブレーション平和の語り 2017」です。2014 年度に開催された「第 12 回全日本語りの祭り in 南三陸」の会場と同じホテルで、震災地を再訪し、復興の様子を確かめ、語りの交流を深めようというものです。当初の定員以上の参加申し込みがあり、嬉しい悲鳴をあげました。皆さんの関心の深さも加わり、小規模ならではの得難い語りの場が実現できたように思います。復興途上にあって人々の暮らしの再建はそう簡単ではありません。遠方からの語り手、地元の語り手が同じ語りの場で、交流を深めたことで互いに大切なことを学んだように感じました。

今年、2 年をかけて進める 2018 年度事業の開催年。「第 14 回全日本語りの祭り in 那須高原」(9 月 30 日~10 月 2 日)の準備が着々と進んでいます。その計画には 2017 年度総会出欠ハガキの初試みとして語りの祭りの要望等お聞きした多数のご意見も参考にさせていただいています。NPO 法人全日本語りネットワーク理事会と地元実行委員会の体制も整い、細部について詰めており、次号にてご案内が届けられるよう取り組んでいるところです。どうぞ、皆様。体調調整え、足腰鍛え、年の始めの計画に語りの祭りを加えていただきますようお願いいたします。

最後に、当会ホームページ(トップ画面右上囲み欄)に語りのメッセージを発信しているのをご存知でしょうか?今一度皆さんと共有したく、その一部を抜粋しご紹介します。

「…人々は昔から、いろいろなお話を語り伝えてきました。お話には人類の普遍的な愛情や知恵や勇氣、ユーモアなど生きる力を豊かにする要素がふんだんに盛りこまれています。現代こそ素朴な「語りの文化」の重要性を見直し言葉への信頼や人間性の回復をめざす時…。」

沢山の問題が横たわる今こそ、言葉を、語り子どもたちに、いや全ての人たちに届けていきましょう。良い年になりますように!

